

(2025.8.28)

**ノンアルコール飲料に関する消費者飲用実態・意識調査  
サントリー ノンアルコール飲料レポート 2025  
(詳細版)**

〈調査概要〉

- ・調査対象
  - －ノンアルコール飲料に関する事前調査
    - ・一都三県（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県）に在住する20-60代の男女 30,000人
  - －ノンアルコール飲料に関する本調査
    - ・上記30,000人のうち、ノンアルコール飲料の月1日以上飲用者 1,751人
- ・調査方法 インターネット調査
- ・調査日 2025年6月24日（火）- 6月30日（月）

## 〈本レポートで使用する用語の定義〉

ノンアルコール飲料	: アルコール度数0.00%のビールテイスト飲料や レモンサワーテイスト飲料、チューハイテイスト飲料などの 総称
ノンアルコールビールテイスト飲料	: アルコール度数0.00%のビールテイスト飲料
ノンアルコールR T D テイスト飲料	: アルコール度数0.00%のレモンサワーテイスト飲料、 チューハイテイスト飲料（レモンサワーテイスト以外）、 ハイボールテイスト飲料（ウイスキー・テイストを含む）、 カクテルテイスト飲料、梅酒テイスト飲料 (アルコール度数0.00%の焼酎テイスト飲料、 日本酒テイスト飲料は含まない) (R T Dは「Ready to Drink」の略語)
ノンアルコールワインテイスト飲料	: アルコール度数0.00%のワインテイスト飲料 (スパークリングを含む)
この1年間	: 2024年6月 - 2025年5月までの期間
半年前	: 2024年12月頃
1年前	: 2024年6月頃
「増えた」	: 設問において、「増えた」「やや増えた」と回答した人の合計
「増えそう」	: 設問において、 「増えそう」「やや増えそう」と回答した人の合計
「そう思う」	: 設問において、 「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の合計
「あてはまる」	: 設問において、 「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人の合計

※本レポートは、人口動態に合わせてウエイトバック集計を行っています

※本レポートでは、小数第2位を四捨五入しています。そのため、数字の合計が100.0%と  
ならない場合があります

※本レポート内に記載されているMAはマルチアンサー（複数回答）を、SAはシングルアンサー  
(单一回答)を意味します

※当社調査において、グラフ・文中の「2024年」は2024年6月27日（木）付の「サン  
トリー ノンアルコール飲料レポート2024」を指しています

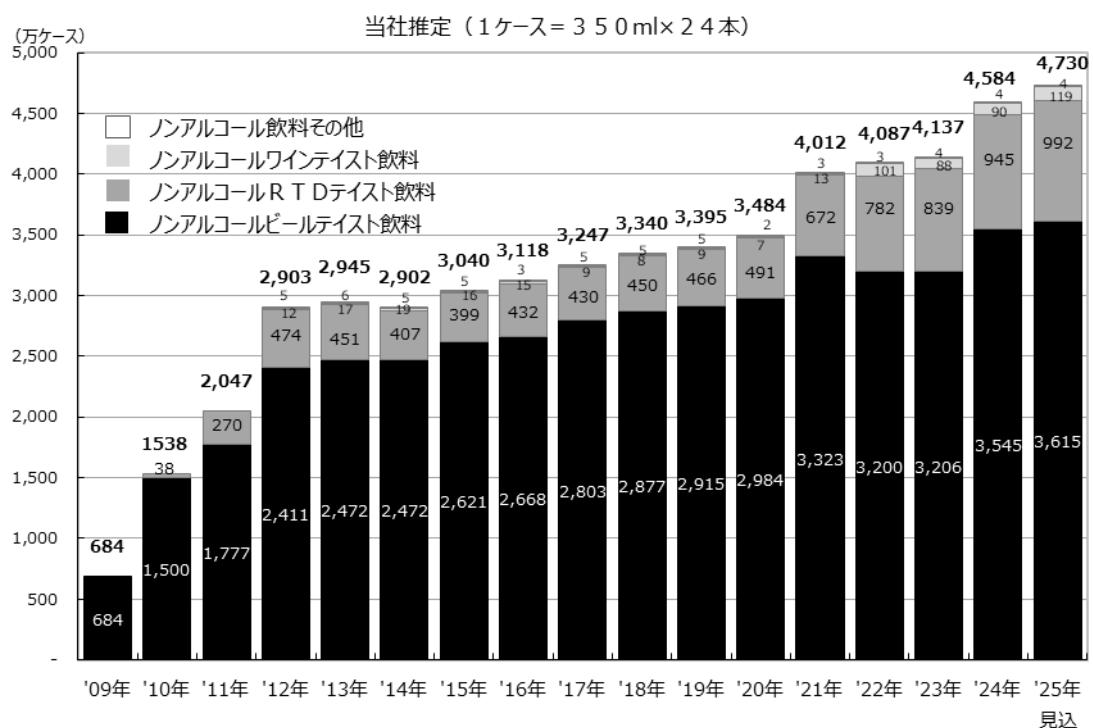
## 1. ノンアルコール飲料市場について

ノンアルコール飲料市場は伸長を続け、過去最大規模に

2024年のノンアルコール飲料市場は、4,584万ケース\*（対前年111%）と、10年前の約1.6倍の市場規模になったと推定されます。2025年の市場規模は約4,730万ケース（対前年103%）と、さらなる市場拡大が見込まれます（図1）。

\*1ケース = 350ml × 24本

【図1】【ノンアルコール飲料市場の推移（2009年－2025年）】



## 2. 消費者飲用実態・意識調査

### (1) ノンアルコール飲料に関する事前調査(30,000人対象)

この1年にノンアルコール飲料を飲んだ人の約半数は月1日以上飲んでいる  
また、7割以上は「自宅内」に加え「自宅外」でも飲んでいる

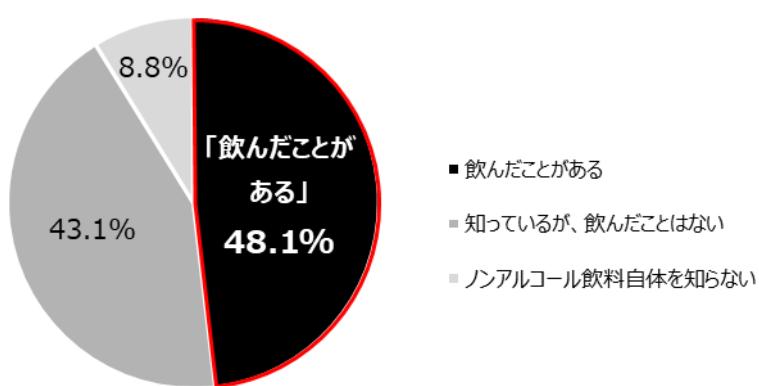
ノンアルコール飲料の飲用経験を聞いたところ、全体の48.1%が「飲んだことがある」と回答しました（図2）。

また、この1年にノンアルコール飲料を飲んだことがあると回答した人に、飲用頻度を聞いたところ、「月に1日以上」と回答した人が約半数（49.1%）、「週に1日以上」と回答した人が約3割（28.4%）となりました（図3）。

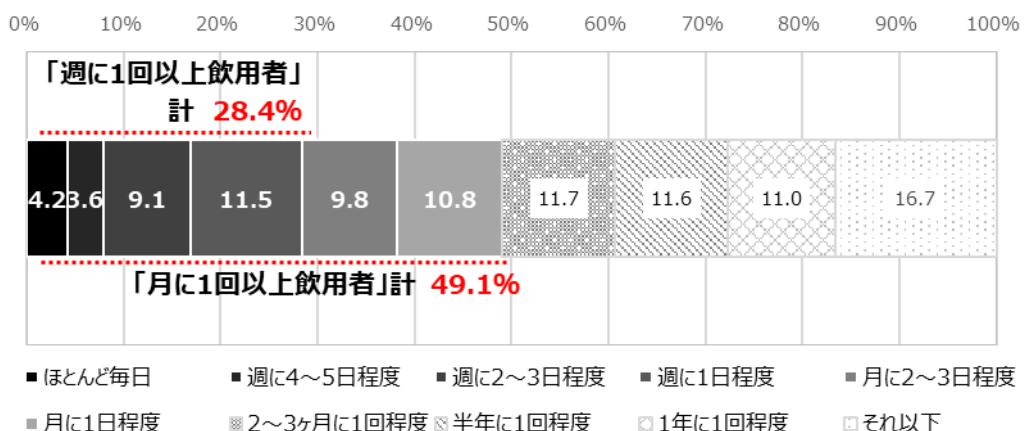
さらに、月1日以上飲んでいる人に、「1年前に比べ、ノンアルコール飲料の飲用量が増えたと思うか」を聞いたところ、月1日以上飲んでいる人の約6割（59.3%）、週1日以上飲んでいる人の約7割（66.4%）が「そう思う」と回答しました。一昨年と比べると、それぞれ4pt以上上昇しています（図4）。

この1年にノンアルコール飲料を飲んだことがあると回答した人に、ノンアルコール飲料を飲んだ場所を聞いたところ、「自宅のみ」と回答した人は約3割（29.0%）にとどまり、7割以上（71.0%）が「自宅内」に加えて「自宅外」でも飲んでいることがわかりました（図5）。

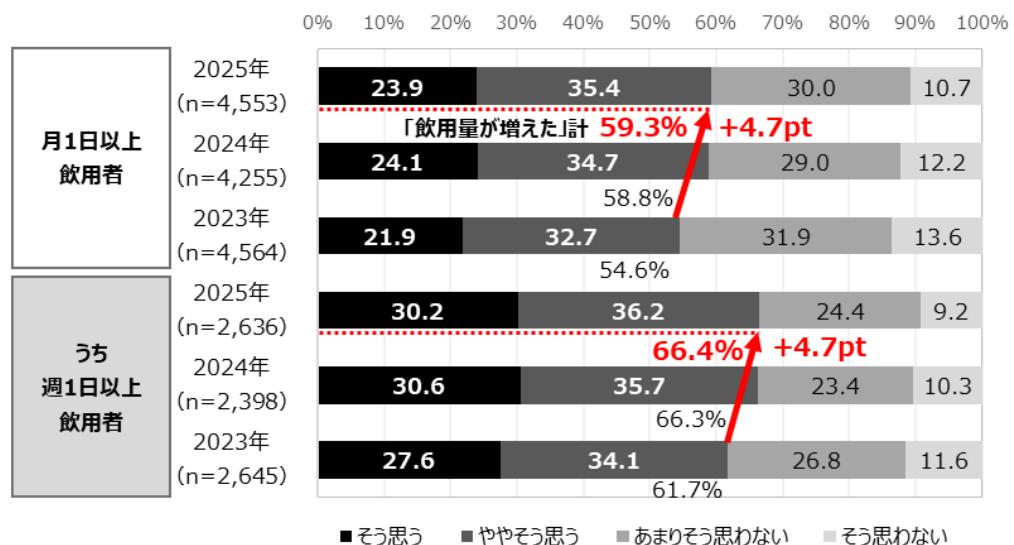
[図2] 【ノンアルコール飲料の飲用経験：全体】  
(S A, n=30,000)



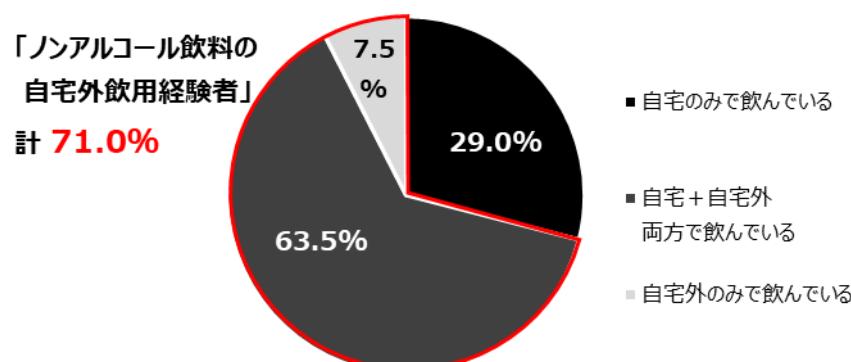
[図3]【ノンアルコール飲料の飲用頻度：  
この1年にノンアルコール飲料を飲んだことがある人】(S A、n=9,278)



[図4]【1年前に比べ、ノンアルコール飲料の飲用量が増えたと思うか：  
ノンアルコール飲料月1日以上／週1回以上飲用者】(S A)



[図5]【ノンアルコール飲料の飲用場所（自宅内外）：  
この1年にノンアルコール飲料を飲んだことがある人】(S A、n=9,278)



月1日以上飲んでいる人のノンアルコール飲料のイメージは、

「飲みやすい」「お酒気分を味わえる」「健康的」

飲んだことがない人のイメージはお酒が飲めないときに飲む「代替品」

ノンアルコール飲料を月1日以上飲んでいる人と飲んだことがない人（非飲用者）にノンアルコール飲料のイメージを聞いたところ、両者に違いが見られました。

月1日以上飲んでいる人では、「飲みやすい」(37.4%)、「お酒気分を味わえる」(35.2%)、「健康的」(28.9%)、「おいしい」(27.6%)、「時代にあっている」(26.0%)などが上位となりました。一方、飲んだことがない人では、「代替品（お酒が飲めないときに飲むもの）」(27.8%)がトップとなっています（図6）。

[図6]【ノンアルコール飲料のイメージ：  
ノンアルコール飲料月1日以上飲用者・非飲用者】(MA)

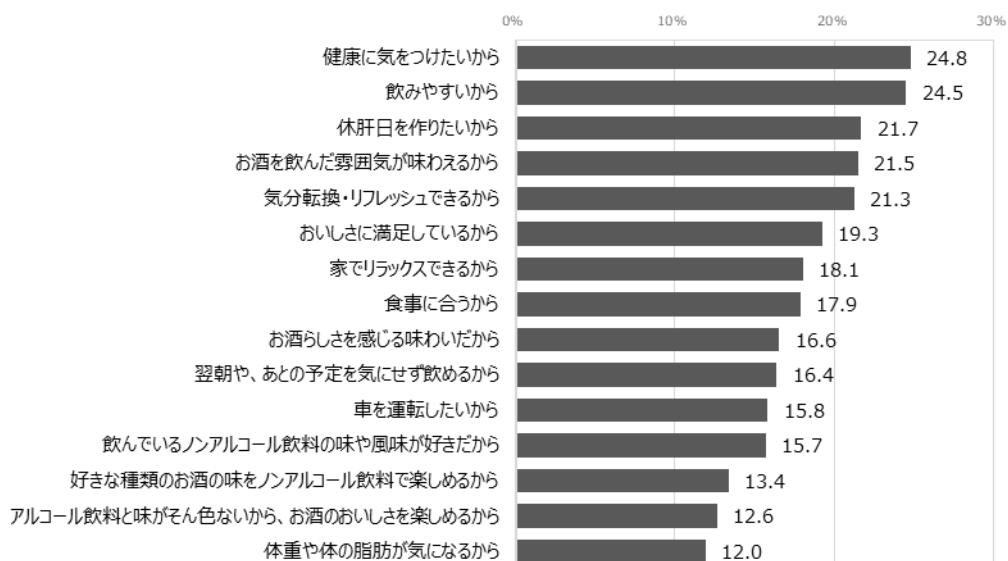
ノンアルコール飲料のイメージ（上位10項目）				
	月1日以上飲用者 (n=4,553)		非飲用者 (n=12,921)	
1	飲みやすい	37.4%	代替品（お酒が飲めないときに飲むもの）	27.8%
2	お酒気分を味わえる	35.2%	つまらない	18.0%
3	健康的	28.9%	お酒気分を味わえる	17.3%
4	おいしい	27.6%	物足りない	16.6%
5	時代にあっている	26.0%	時代にあっている	14.6%
6	気軽	24.7%	飲みやすい	8.0%
7	自分にあっている	23.0%	健康的	7.6%
8	代替品（お酒が飲めないときに飲むもの）	22.8%	当たり障りがない	7.4%
9	気分があがる	12.4%	気軽	7.3%
10	本格的・本物感	11.6%	若者向け	3.9%

ノンアルコール飲料の飲用理由は「健康に気をつけたいから」「飲みやすいから」のほか、「お酒の雰囲気」や「リフレッシュ」も飲用理由にお酒が飲めない代わりではなく、ポジティブな理由で飲用

ノンアルコール飲料を月1日以上飲んでいる人に飲用理由を聞いたところ、「健康に気をつけたいから」(24.8%)、「飲みやすいから」(24.5%)が上位で、「休肝日を作りたいから」(21.7%)、「お酒を飲んだ雰囲気が味わえるから」(21.5%)、「気分転換・リフレッシュできるから」(21.3%)が続いています。

一方で、「車を運転したいから」(15.8%)といったお酒が飲めない代わりの飲用理由は、「健康」や「お酒の雰囲気」、「リフレッシュ」といったポジティブな飲用理由を下回る結果となりました(図7)。

[図7]【ノンアルコール飲料の飲用理由：ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】  
(M A, n=4,553)

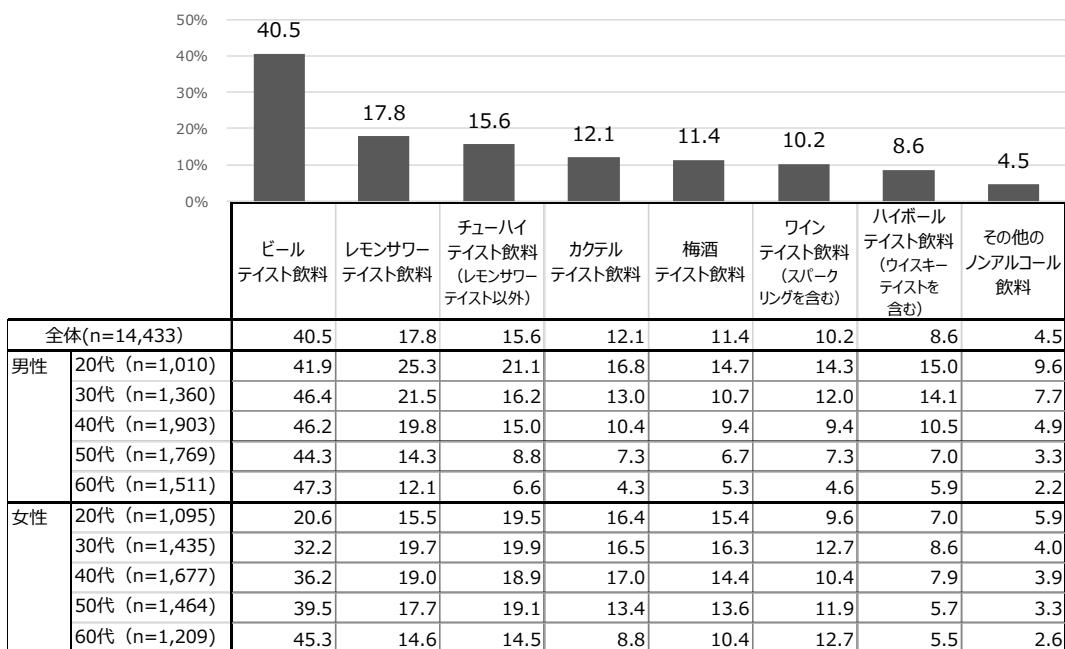


## 自宅で最もよく飲んでいるのは「ノンアルコールビールテイスト飲料」

この1年以内にノンアルコール飲料を飲んだことがあると回答した14,433人に、この1年以内に自宅で飲んだことのあるノンアルコール飲料の種類を聞いたところ、「ビールテイスト飲料」が最も多くなっています。

「ビールテイスト飲料」以外は性年代に関わらず幅広く飲まれていますが、「ハイボールテイスト飲料」は、20-40代において女性よりも男性の方が飲んでいる人が多い特徴がありました。「梅酒テイスト飲料」は全体的に男性よりも女性の方が飲んでいる人が多いようです。「レモンサワーテイスト飲料」、「チューハイテイスト飲料」、「ワインテイスト飲料」は、男女で大きな差はみられませんが、50-60代では女性の方が飲んでいる人が多くなっています（図8）。

[図8]【この1年以内に自宅内で飲んだノンアルコール飲料：ノンアルコール飲料飲用経験者／月1日以上飲用者】(SA)



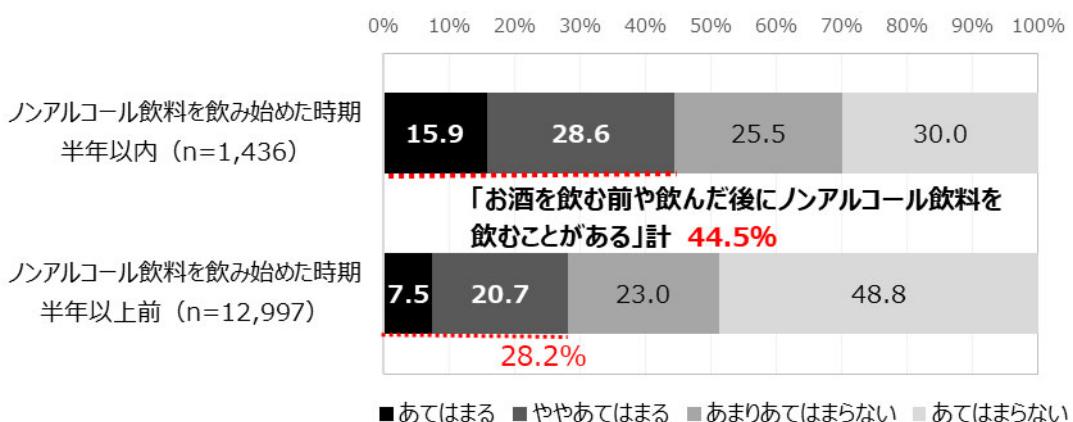
半年以内にノンアルコール飲料を飲み始めた人のなかで、  
お酒とノンアルコール飲料を交互に飲みながら楽しむ  
「ゼブラ飲み」が広がっている

ノンアルコール飲料を飲み始めた時期が半年以内の人と半年以上前に、ノンアルコール飲料の飲み方について聞いてみました。

「お酒を飲む前や飲んだ後にノンアルコール飲料を飲むことがあるか」を聞いたところ、ノンアルコール飲料を半年以上前に飲み始めた人では「あてはまる」と回答した人が約3割（28.2%）でしたが、半年以内に飲み始めた人では4割超（44.5%）となりました。

半年以内にノンアルコール飲料を飲み始めた人において、お酒を飲む前や飲んだ後にノンアルコール飲料を飲む人が多いことから、お酒とノンアルコール飲料を交互に飲みながら楽しむ「ゼブラ飲み」が広がっているようです（図9）。

【図9】【お酒を飲む前や飲んだ後にノンアルコール飲料を飲むことがあるか：ノンアルコール飲料を半年以内に飲み始めた人／半年以上前に飲み始めた人】（S A）

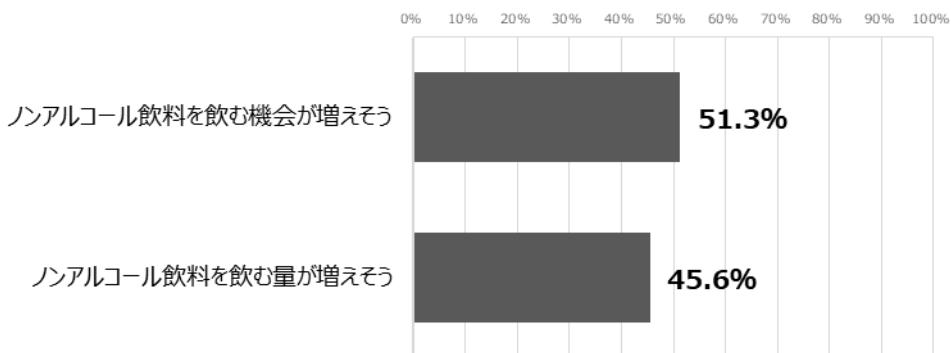


月1日以上飲んでいる人の半数以上が、「今後、飲む機会が増えそう」と予想

ノンアルコール飲料を月1日以上飲んでいる人に「今後、ノンアルコール飲料を飲む機会や飲む量が増えると思うか」を聞いたところ、5割以上（51.3%）が「飲む機会が増えそう」と回答し、4割以上（45.6%）が「飲む量が増えそう」と回答しています。

健康志向が高まるなか、ノンアルコール飲料の多様な飲み方の広がりとともに、飲む機会や飲む量が増えていくと考えているようです（図10）。

〔図10〕【今後、ノンアルコール飲料を飲む機会や飲む量が増えると思うか：  
ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】（S A、n=4,553）



## (2) ノンアルコール飲料に関する本調査

(ノンアルコール飲料月1日以上飲用者1,751人対象)

ノンアルコール飲料の飲用理由について約7割が

「何かの代わりではなく、積極的に選んでいる」と回答

ノンアルコール飲料を選択する理由は「気軽に飲めそう」「リフレッシュしたい」

「身体を気遣いたい」「お酒を飲んでいる雰囲気を楽しみたい」

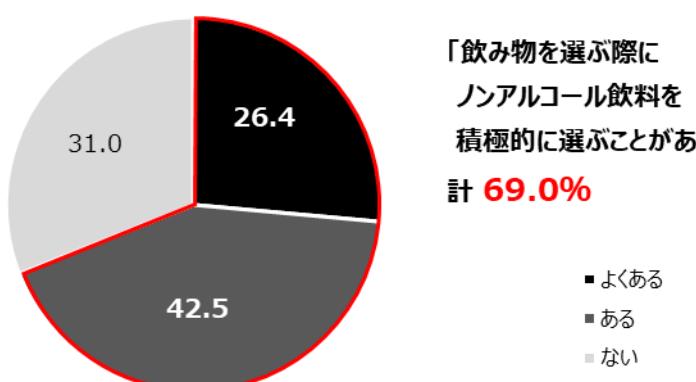
「リラックスしたい」が上位

自宅や飲食店などでノンアルコール飲料を月1日以上飲んでいる人1,751人に、「飲み物を選ぶ際に、ノンアルコール飲料を積極的に選ぶことがあるか」を聞いたところ、約7割(69.0%)が「よくある」「ある」と回答しています。多くの選択肢から、あえてノンアルコール飲料を選択しているようです(図11)。

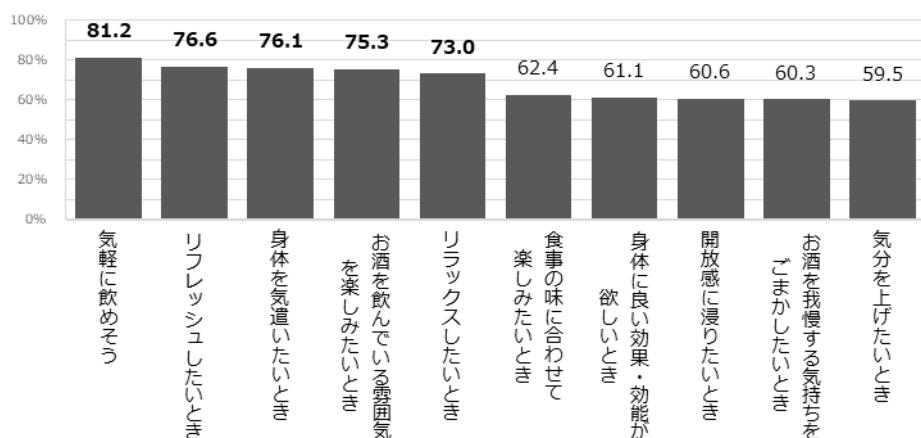
そこで、「自宅内でお茶や水、清涼飲料水などではなく、ノンアルコール飲料を選ぶのはどのようなシチュエーション・気持ちのときか」を聞いたところ、「気軽に飲めそう」(81.2%)が最も多く、「リフレッシュしたいとき」(76.6%)、「身体を気遣いたいとき」(76.1%)、「お酒を飲んでいる雰囲気を楽しみたいとき」(75.3%)、「リラックスしたいとき」(73.0%)が続きました。身体を気遣いたいときだけでなく、リフレッシュやリラックスといった気持ちを切り替えるときや、ノンアルコールでありながらお酒を飲んでいるような気分を楽しみたいときに、ノンアルコール飲料を選んでいるようです(図12)。

また、ノンアルコール飲料の種類が広がるなか、ノンアルコール飲料の種類の選び方を聞いたところ、6割以上が「気分に合わせて、ノンアルコール飲料の種類を選んでいる」(66.0%)、「飲用シーン(場面)に合わせてノンアルコール飲料を選んでいる」(64.0%)と回答しています。その時々のシーンや気分に合わせて、楽しんでいる様子がうかがえます(図13)。

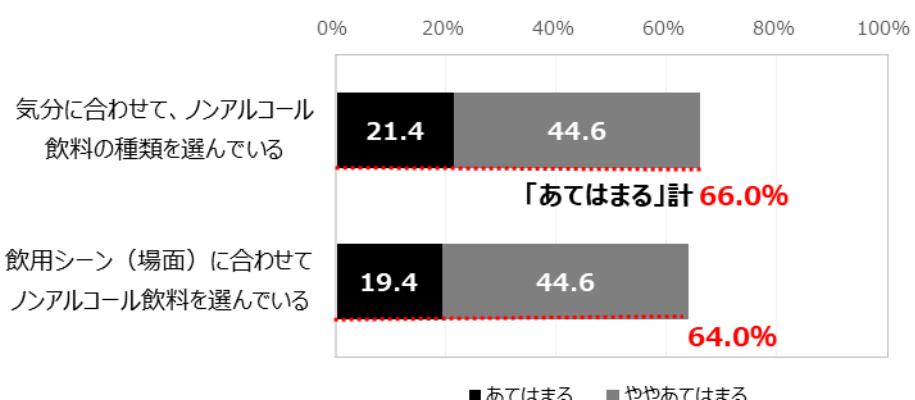
[図11]【飲み物を選ぶ際に、ノンアルコール飲料を積極的に選ぶことがあるか：ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】(S A、n=1,751)



[図12]【自宅内でお茶や水、清涼飲料水などではなく、ノンアルコール飲料を選ぶのはどのようなシチュエーション・気持ちのときか（上位10項目）：ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】（MA、n=1,751）



[図13]【ノンアルコール飲料の種類の選び方：ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】（SA、n=1,751）

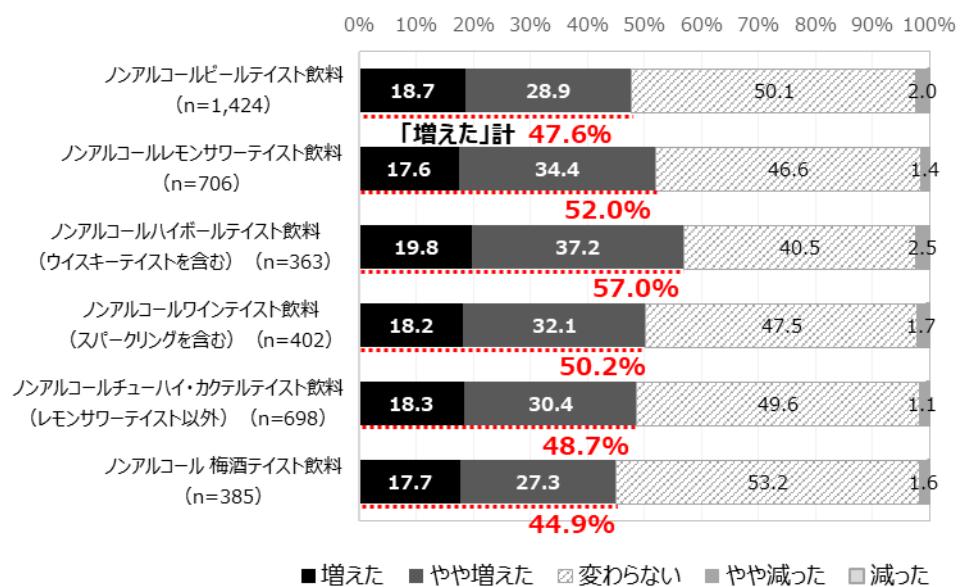


ノンアルコール飲料の種類に関わらず、飲用量が「増えた」と回答したのは4割以上。「減った」と回答した人は数%。増加の理由の1位は「おいしいから・おいしくなったから」

飲んでいるノンアルコール飲料の種類別に、「ノンアルコール飲料を飲む量は1年前と比較して変わったか」を聞いたところ、どの種類においても、「増えた」と回答した人が4割以上（「ビールテイスト飲料」47.6%、「レモンサワーテイスト飲料」52.0%、「ハイボールテイスト飲料」57.0%、「ワインテイスト飲料」50.2%、「チューハイ・カクテルテイスト飲料」48.7%、「梅酒テイスト飲料」44.9%）となっており、「増えた」と回答した人に「変わらない」と回答した人を合わせると、9割以上を占めています。一方、「減った」と回答した人は数%でした。特に、「ハイボールテイスト飲料」「レモンサワーテイスト飲料」「ワインテイスト飲料」を飲んでいる人では、「増えた」と回答した人が5割を超えていました（図14）。

「増えた」と回答した人にその理由を聞いたところ、どの種類においても「おいしいから・おいしくなったから」が1位となりました。「ビールテイスト飲料」の2位は「休肝日を作ろう、増やそうと思ったから」（25.2%）ですが、それ以外のノンアルコール飲料では「味が好きだから」が2位になっています。おいしさや味が支持されて、飲用量が増えているようです（図15）。

[図14]【1年前と比べた飲用量変化（種類別）：  
ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】(MA)



【図15】【飲用量増加理由（種類別）：  
ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】（MA）

	1位 %	2位 %	3位 %
ノンアルコール ビールテイスト飲料 (n=1,424)	おいしいから・ おいしくなったから <b>33.2</b>	休肝日を作ろう、 増やそうと思ったから 25.2	健康を気にするようになつたから 24.5
ノンアルコール レモンサワーテイスト飲料 (n=706)	おいしいから・ おいしくなったから <b>32.7</b>	味が好きだから 26.2	健康を気にするようになつたから 22.9
ノンアルコール ハイボールテイスト飲料 (ウイスキーテイストを含む) (n=363)	おいしいから・ おいしくなったから <b>27.5</b>	味が好きだから 25.1	健康を気にするようになつたから 24.6
ノンアルコール ワインテイスト飲料 (スパークリングを含む) (n=402)	おいしいから・ おいしくなったから <b>35.1</b>	味が好きだから 26.2	健康を気にするようになつたから 26.2
ノンアルコールチューハイ・ カクテルテイスト飲料 (レモンサワー・ テイスト以外) (n=698)	おいしいから・ おいしくなったから <b>36.8</b>	味が好きだから 28.2	気分転換・リフレッシュできるから 24.7
ノンアルコール 梅酒テイスト飲料 (n=385)	おいしいから・ おいしくなったから <b>30.6</b>	味が好きだから 28.9	気分転換・リフレッシュできるから 24.9

「夕食時」「夕食後」「風呂上がり」がノンアルコール飲料の三大飲用シーン  
ノンアルコールR T Dテイスト飲料を飲んでいる人は「お酒を飲んだ後」や  
「お酒とお酒の間」にもノンアルコール飲料を飲んでいる

飲んでいるノンアルコール飲料の種類別に飲用シーンを聞いたところ、どの種類も「夕食時」「夕食後」「風呂上がり」が上位となりました。それ以外では、「休日の昼間」「くつろいでいる時」「休肝日」なども上位に挙がっています（図16）。

また、「オンとオフの切り替えにノンアルコール飲料を飲むことがあるか」を聞いたところ、「よくある」「ある」と回答した人が60.8%となりました。ノンアルコール飲料は、リフレッシュやリラックスをもたらしているようです（図17）。

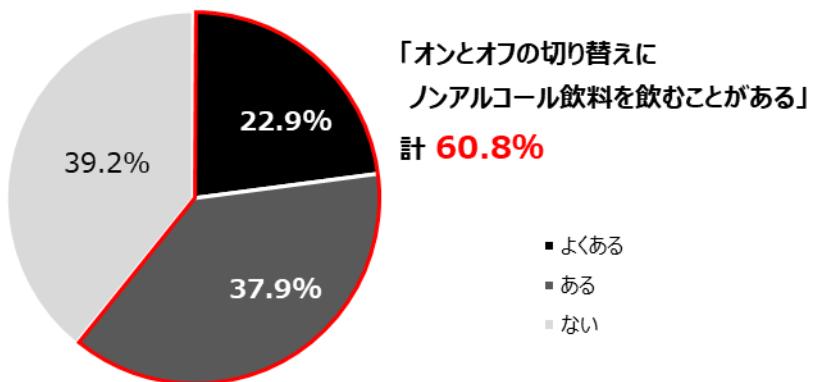
また、「お酒を飲んだ後に、ノンアルコール飲料を飲むことがあるか」を聞いたところ、「ビールテイスト飲料」を飲んでいる人のうち「ある」と回答したのは44.1%でしたが、「ハイボールテイスト飲料」を飲んでいる人においては73.6%となりました（図18）。さらに、「お酒を飲んだ後にノンアルコール飲料を飲み、またお酒を飲んだことがあるか」を聞いたところ、ビールテイスト飲料を飲んでいる人のうち「ある」と回答したのは38.4%でしたが、「ハイボールテイスト飲料」を飲んでいる人においては68.5%、「梅酒テイスト飲料」を飲んでいる人においては飲用者も60.5%となっています（図19）。

ノンアルコールR T Dテイスト飲料を飲んでいる人は、「お酒を飲んだ後」や「お酒とお酒の間」にもノンアルコール飲料を飲んでいるようです。

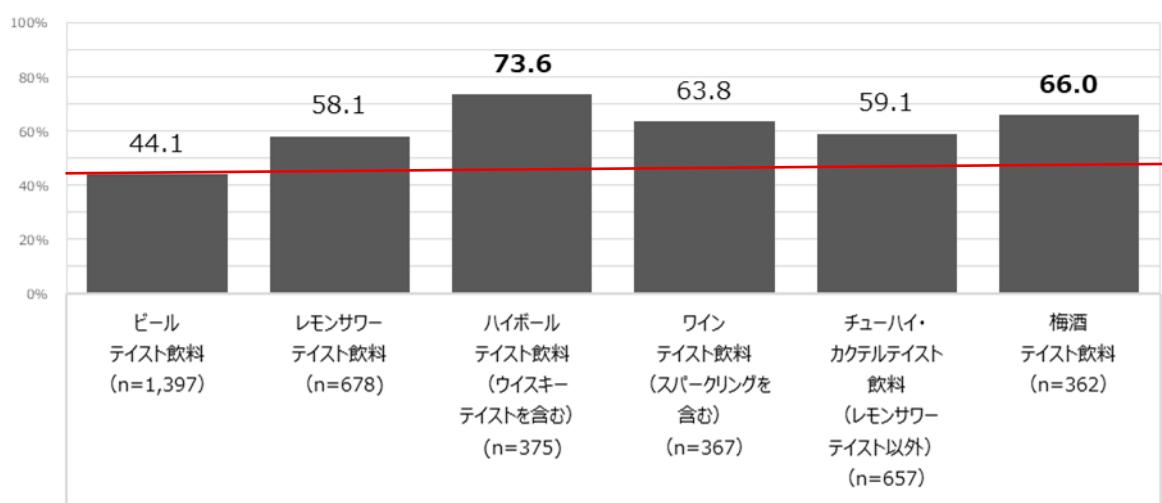
[図16]【ノンアルコール飲料を飲むシーン（種類別）：  
ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】(MA)

	1位	2位	3位	4位	5位
ノンアルコールビールテイスト飲料 (n=1,424)	夕食時	風呂上がり	夕食後	休日の昼間	くつろいでいる時
	62.2	29.0	27.0	22.5	21.4
ノンアルコールレモンサワーテイスト飲料 (n=706)	夕食時	夕食後	風呂上がり	くつろいでいる時	休日の昼間
	61.8	34.3	34.3	23.7	23.2
ノンアルコールハイボールテイスト飲料 (ウイスキーテイストを含む) (n=363)	夕食時	夕食後	風呂上がり	休日の昼間	くつろいでいる時
	59.2	39.4	35.0	26.4	24.8
ノンアルコールワインテイスト飲料 (スパークリングを含む) (n=402)	夕食時	夕食後	風呂上がり	休日の昼間	休肝日
	58.7	36.3	26.6	25.1	24.4
ノンアルコールチューハイ・カクテルテイスト飲料 (レモンサワーテイスト以外) (n=698)	夕食時	夕食後	風呂上がり	くつろいでいる時	休日の昼間
	53.7	38.4	32.7	26.2	21.8

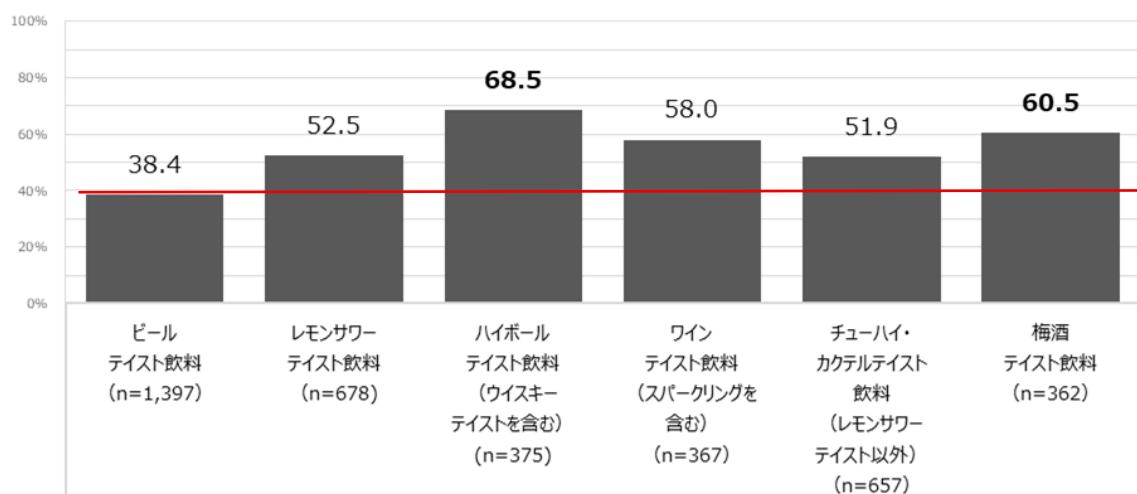
[図17]【オンとオフの切り替えにノンアルコール飲料を飲むことがあるか：  
ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】(S A、n=1,751)



[図18]【お酒を飲んだ後に、ノンアルコール飲料を飲むことがある（種類別）：  
ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】(S A)



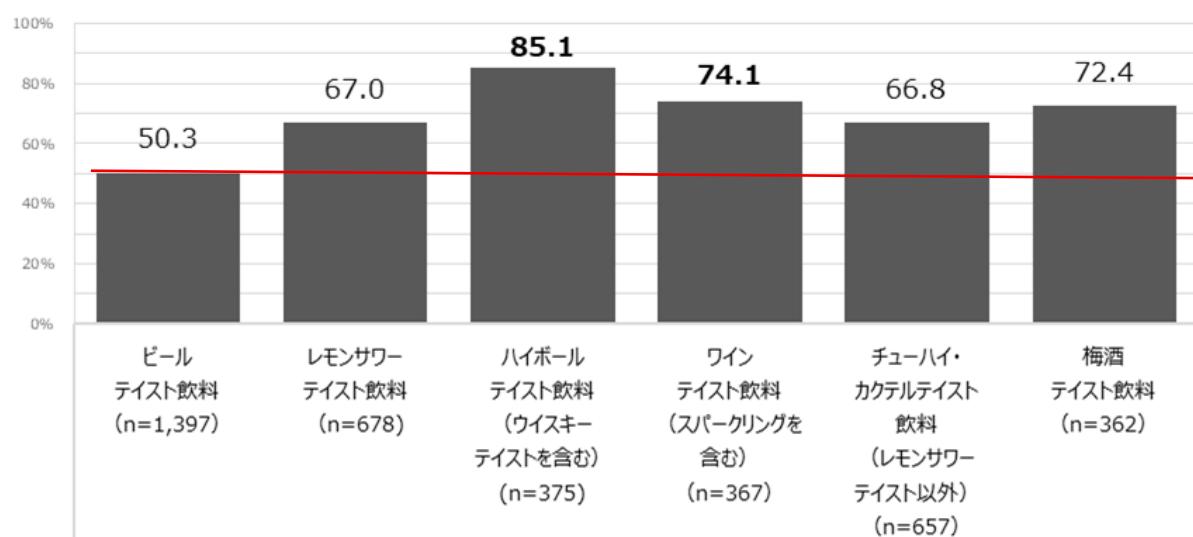
[図19]【お酒を飲んだ後にノンアルコール飲料を飲み、  
またお酒を飲んだことがある（種類別）：ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】(S A)



ノンアルコールR T Dテイスト飲料を飲んでいる人の6割以上が、  
1日のうちに複数の種類のノンアルコール飲料を飲むことがあると回答

飲んでいるノンアルコール飲料の種類別に、「1日のうちに、複数の種類のノンアルコール飲料を飲むことがあるか」を聞いたところ、「ビールテイスト飲料」以外のR T Dテイスト飲料では6割以上が「ある」と回答しています。特に「ハイボールテイスト飲料」を飲んでいる人では85.1%が「1日に複数の種類を飲むことがある」と回答しています（図20）。

【図20】【1日のうちに、複数の種類のノンアルコール飲料を飲むことがある  
(種類別)：ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】(S A)

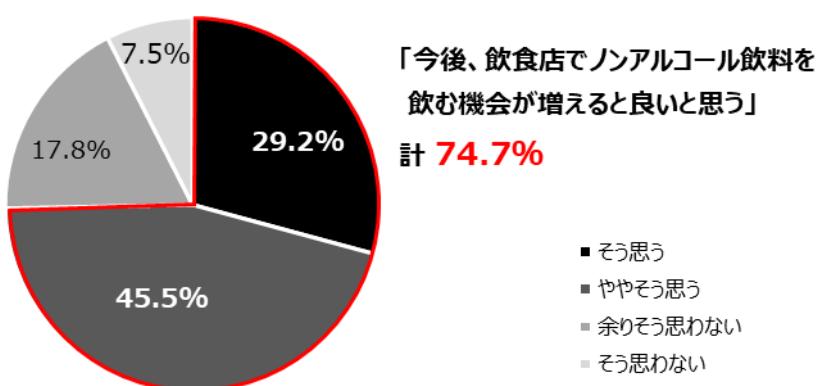


7割以上は今後、飲食店でノンアルコール飲料が飲める機会の増加を希望  
飲食店で飲みたいのは「ビールテイスト飲料」に加え  
「レモンサワーテイスト飲料」や「チューハイ・カクテルテイスト飲料」など

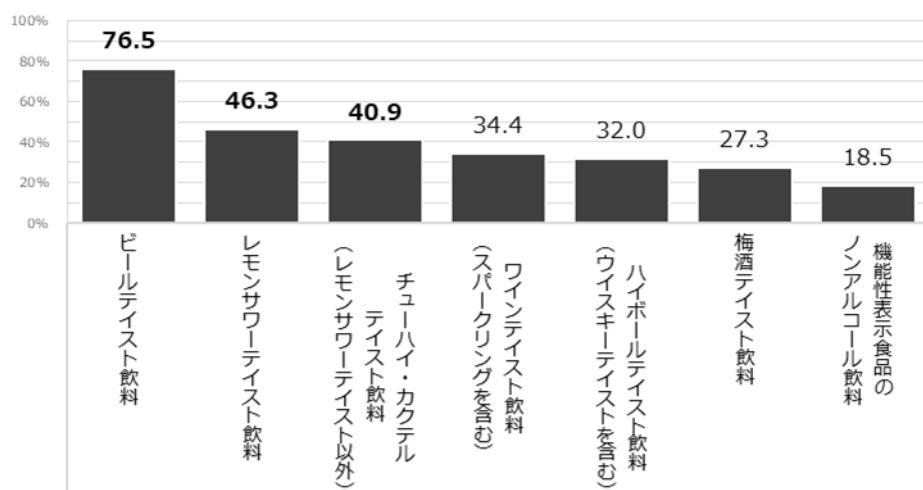
「今後、飲食店でノンアルコール飲料が飲める機会が増えると良いと思うか」を聞いたところ、7割以上（74.7%）が「そう思う」と回答しています。4人に3人は今後、飲食店で飲める機会がもっと増えることを期待しているようです（図21）。

また、「外食時に飲みたいノンアルコール飲料」については、「ビールテイスト飲料」（76.5%）、「レモンサワーテイスト飲料」（46.3%）、「チューハイ・カクテルテイスト飲料」（40.9%）の順になりました。「ビールテイスト飲料」だけでなく、飲食店でもいろいろな種類のノンアルコール飲料を楽しみたいと考えているようです（図22）。

【図21】【今後、飲食店でノンアルコール飲料が飲める機会が増えると良いと思うか：ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】（S A、n=1,751）



【図22】【外食時に飲みたいノンアルコール飲料：  
ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】(MA、n=1,751)

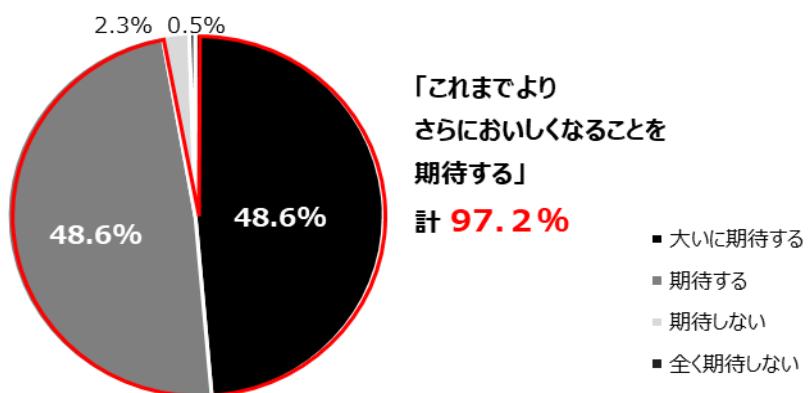


ビールテイスト飲料に対して9割以上が、これまで以上においしくなることを期待  
理想のビールテイスト飲料とは、「ビールらしい味わい」があること

ノンアルコール飲料を月1日以上飲んでいる人のうち、ビールテイスト飲料を飲んでいる人に「ビールテイスト飲料がこれまでよりさらにおいしくなることを期待するか」を聞いたところ、9割以上(97.2%)が「大いに期待する」「期待する」と回答しています(図23)。

そこで、「理想のノンアルコールビールテイスト飲料」について聞いたところ、「ビールらしい味わい」(55.4%)と回答した人が最も多くなり、「飲みやすい」(37.6%)、「食事に合う」(36.8%)、「のどごしのよい」(36.4%)が続いています(図24)。

[図23]【ビールテイスト飲料がこれまでよりさらにおいしくなることを期待するか：ノンアルコールビールテイスト飲料飲用者】(S A、n=1,424)



[図24]【理想のビールテイスト飲料とは（上位10項目）：ノンアルコール飲料月1日以上飲用者】(M A、n=1,424)

理想のビールテイスト飲料とは（上位10項目）		
1	ビールらしい味わい	55.4%
2	飲みやすい	37.6%
3	食事に合う	36.8%
4	のどごしのよい	36.4%
5	ゴクゴク飲める	35.7%
6	キレのある	34.3%
7	飲みごたえがある	33.4%
8	うまいがある	30.8%
9	麦のうまみがある	30.8%
10	飲み飽きない	30.7%

以上